



# 第49回放送文化基金賞

## 申込方法(表彰実施細則)

公益財団法人 放送文化基金



受付期間 > 2023年 3月1日(水)～4月3日(月) 必着

放送文化基金賞は、

【視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組・配信コンテンツ】

【放送文化、放送技術の分野で顕著な業績をあげた個人・グループ】を対象に表彰します。

2022年4月1日から2023年3月31日までの間に放送・配信された番組・コンテンツと、その期間を中心に活躍された個人・グループを対象とします。

表彰実施細則をお読みの上、ご応募ください。

\*参加費は無料です。

### 応募・推薦から決定、贈呈式まで

2023年3月1日(水)～4月3日(月) 応募・推薦の受付期間

#### STEP1 Web申込み

放送文化基金賞Web申込みより、

参加申込書、映像、音声データをアップロードしてください。

#### STEP2 郵送 4月3日(月) 必着

台本、必要書類等を下記まで送付してください。

✉ 【送付先】 〒150-0047

東京都渋谷区神山町9-6 日本会館2 2F

公益財団法人 放送文化基金「放送文化基金賞」行

4月～5月

専門委員会の実施

5月

審査委員会による選定

6月6日(火)

理事会による決定(決定後に記者発表)

7月13日(木)

贈呈式

# 1

## ドキュメンタリー部門、ドラマ部門、エンターテインメント部門、ラジオ部門

\*配信コンテンツについても上記各部門での応募となります。

### 表彰対象

日本国内に拠点を置く会社が企画・制作した番組・配信コンテンツとする。

#### 【放送・配信期間】

- ・2022年4月1日から2023年3月31日までに初めて放送・配信された番組・コンテンツを対象とする。ただし、先に劇場公開されたものは不可。

#### 【放送・配信時間】

- ・150分以内（CM含まず）とする。

#### 【シリーズ・連続した番組・配信コンテンツ】

- ・応募者が2話まで、合計150分以内（CM含まず）を選んで応募する。ただし、いずれも編集は不可。
- ・1話30分以内（CM含まず）のものについては、合計120分以内（CM含まず）まで何話でも応募可。
- ・応募以外の回も提出をお願いすることがある。

#### 【その他】

- ・他のコンクールに参加した番組・配信コンテンツも応募可。
- ・アニメーションも応募可。

### 参加の方法

#### 1. 参加は、応募と推薦による。

##### 【応募】

日本放送協会・・・本部（東京）でとりまとめて応募する。

日本民間放送連盟加盟各社・・・各社から直接応募する。

動画配信会社（日本国内に拠点があること）・・・各社から直接応募する。

##### 【推薦】

全日本テレビ番組製作社連盟・・・加盟各社からの応募を連盟で選定のうえ推薦する。

日本映像事業協会・・・加盟各社からの応募を協会で選定のうえ推薦する。

#### 2. コミュニティ放送局、C S放送局、ケーブルテレビ等、上記指定した機関以外からの応募については、放送文化基金事務局で個別に検討する。ただし、番組制作プロダクションからの直接の応募は不可。

#### 3. 応募・推薦の数は、下記の表＜応募・推薦制限数＞のとおりとする。

##### ＜応募・推薦制限数＞

応募機関	部門	ドキュメンタリー	ドラマ	エンターテインメント	ラジオ
日本放送協会 (応募)	本部・関東甲信越各放送局	4※	4	2	4
	各拠点放送局域内	2	2	1	2
日本民間放送連盟加盟各社(応募)		1	4	2	2
全日本テレビ番組製作社連盟(推薦)	10	5	5	-	
日本映像事業協会(推薦)	-	-	2	-	
動画配信会社(応募)	1	2	1	-	

\* 制限数4本は関東甲信越各放送局からの応募1本を含むもので、これがない場合は本部の制限数は3本とする。

## 応募に際して提出するもの

### 1. 参加申込書

放送文化基金賞Web申込み (<https://hbf.yoshida-p.net/awards/>) から所定の様式の申込書に記入しアップロードしてください。

### 2. 映像データ

放送文化基金賞Web申込み (<https://hbf.yoshida-p.net/awards/>) から映像データをアップロードしてください。

▽CM部分は削除し、黒味2~3秒程度にしてください。

▽映像データのフォーマットは次の通りにしてください。

【必須】・コーデックH.264のMP4もしくはMOV

・150分で20GB以内

【推奨】・平均ピットレート10Mbps

▽ラジオは、音声データを上記の通り映像ファイル（MP4もしくはMOV）に変換の上、アップロードしてください。変換の際は、CM部分は削除、本編のみを収録し、前後に2秒の無音を入れて画面表示は黒味にしてください。

### 3. 台本

台本があるものは1部を郵送してください。

### 4. 応募および受賞に関する送出放送機関の承諾書

推薦された番組制作プロダクションからの応募については、参加申込書の他に、所定の様式による「応募および受賞に関する送出放送機関の承諾書」を郵送してください。

## 審査方法

- 各部門の専門委員会で審査を行う。
- 専門委員会の結果に基づき、審査委員会で選定、理事会で決定する。

## 表彰件数

- ドキュメンタリー部門···5本  
ドラマ部門···4本  
エンターテインメント部門···4本  
ラジオ部門···3本
- 4つの部門とも【最優秀賞】、【優秀賞】、【奨励賞】を選定し表彰する。（該当がない場合は選定しない）
- 表彰された番組・配信コンテンツには、賞牌、賞金を贈る。  
賞金は【最優秀賞】100万円、【優秀賞】70万円、【奨励賞】50万円。
- 表彰された番組・配信コンテンツに携わった個人に賞を贈る。  
受賞者には、トロフィー、賞金30万円を贈る。  
(例) [演技賞] [出演者賞] [企画賞] [制作賞] [演出賞] [脚本賞] [効果賞] 等

## ② 放送文化部門、放送技術部門

## 表彰対象

### 【放送文化部門】

おおむね過去1年間に顕著な業績をあげ、放送界に新生面を拓いた、または永年にわたり放送文化の発展・向上に貢献した個人またはグループを対象とする。

### 【放送技術部門】

放送に関連する技術の研究・開発、あるいは放送現場での工夫・考案で効果を上げた技術により、おおむね過去1年間に顕著な業績を残した個人またはグループを対象とする。

## 参加の方法

- 参加は、日本放送協会、日本民間放送連盟加盟各社、日本民間放送連盟、全日本テレビ番組製作社連盟、放送文化基金賞番組・配信コンテンツ各部門の専門委員、放送文化部門地域推薦委員の推薦による。
- 推薦数は、放送文化部門3件以内、放送技術部門3件以内とする。ただし、日本放送協会は、本部（東京）でとりまとめて推薦する。推薦数は、本部3件、地域局3件とする。

## 推薦に際して提出するもの

### 1. 推薦書

放送文化基金賞Web申込み (<https://hbf.yoshida-p.net/awards/>) から所定の様式の推薦書に記入しアップロードしてください。

### 2. 業績に関する映像・文献・プロフィール等の資料

▽映像資料は、放送文化基金賞Web申込み から映像データをアップロードしてください。

映像データのフォーマットは次の通りにしてください。

【必須】

- ・コーデックH.264のMP4もしくはMOV

【推奨】

- ・60分あたり4.5GB程度
- ・平均ビットレート10Mbps

▽活字資料は12部郵送してください。

## 審査方法

### 1. 放送文化部門、放送技術部門それぞれの専門委員会で審査を行う。

▽放送技術部門は、専門委員会で推薦の業績に関して説明をしていただきます。

・開催日：2023年5月22日

・開催場所：放送文化基金事務局

・交通費1名分を支給

### 2. 専門委員会の結果に基づき、審査委員会で選定、理事会で決定する。

## 表彰件数

### 1. 表彰件数は放送文化部門、放送技術部門それぞれ4件以内とする。

### 2. 受賞者には、トロフィー、賞金30万円を贈る。

\*提出された書類、映像、音声データ等は審査終了後、削除・廃棄いたします。